

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(1) 育児休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の仕事と子育ての両立等についての相談窓口での相談受付	総務課			①充実		●	③新規
事業の概要							
市職員の仕事と子育てについて相談を受ける窓口を設置し、仕事と子育ての両立ができるよう職員のサポートを行うもの。							
平成26年度実績							
総務課人事係で相談を受ける体制となっており、産前休暇願申請の際に個別に相談を受けることとしている。							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
職員が気軽に相談できる雰囲気づくりを心掛けたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
継続して、気軽に相談できる雰囲気づくりに努める。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(1) 育児休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の育児休業等取得率の向上(少子化・子育て支援)	総務課	男性5.3% 女性100%	男性10% 女性100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
市職員が育児休業を取得しやすい職場環境を整えるとともに、男性職員の取得を促進していく。							
平成26年度実績							
○平成26年度中に新たに育児休業が取得可能になった職員数と取得実績 対象者 男性12人 女性3人 取得者 男性0人(0%) 女性3人(100%)							決算額
							実績値
							男性0% 女性100%
							進捗状況
3							
事業に対する評価・課題等							
生成26年度実績として、女性の取得率100%に対し、男性の取得率0%であった。育児休業制度及び育児短時間勤務制度の周知を行うとともに、男性職員の育児休業取得を促進する。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							2
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							2
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
職員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに心がけ、男性職員の育児休業取得を促進する。							予算額
							—
							目標値
男性10% 女性100%							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(2) 子ども看護休暇制度の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への子どもの看護休暇等の特別休暇の周知と取得の促進	総務課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>「子の看護のための休暇」は、職員が負傷又は病気の小学校就学の始期に達するまでの子の看護を行なう場合で、その勤務しないことが相当と認められるときを対象とする特別休暇で、1年において5日(2人以上は10日)の範囲内で認められる。子どもの看護休暇等の子育てを支援する特別休暇制度の周知を行い、取得の促進を図る。</p>							
平成26年度実績							
平成26年度 子の看護休暇取得 6人 9日0時間15分(うち男性職員 3人)							決算額
							—
							実績値
							5人
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
制度の周知を行う。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
男女問わず、職員の取得をさらに促進させるため、制度の周知を図る。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(3) 男性の育児休業取得に向けた意識啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
「えひめの保育」等を通じた情報提供・意識啓発	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
「えひめの保育」や各種情報誌など、あらゆる機会を活用し、男性の育児休業取得に向けた意識啓発を行う。							
平成26年度実績							
各種情報誌などを窓口や保育所などに配布設置しているが、男性の育児休業取得に向けた積極的意識啓発とまでは至っていない							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
積極的な啓発に取り組む必要あり							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
前年度と同じ内容の啓発にとどまるが、積極的な啓発に取り組む必要あり							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(4) 育児支援サービスの利用促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
保育サービスネットワーク事業	福祉課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
各種保育サービスや地域支援体制など支援サービスや制度について周知に努め、公的サービスの利用を促進します。 ・地域内における保育サービスに関するパソコンネットワークを構築し、病後児保育・一時保育・認可外保育施設などの空き状況の情報提供 ・育児休業取得者、育児を行う就業者に対する育児支援等の、国・県の関係諸施策や各種制度の広報・情報提供、関係団体と連携して啓発に努める								
平成26年度実績								
「宇和島市保育サービスネットワーク」として、ホームページを開設しており、随時更新を行っている。								決算額
								0千円
								実績値
								-
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
情報媒体の充実化、さらなる周知に努める必要あり								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成27年度予定								
子育てガイドブック製作予定								予算額
								7,000千円
								目標値
-								

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(5) 延長保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
延長保育の充実	福祉課	6箇所	9箇所	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
開園時間を超える保育ニーズに対応するため、延長保育を充実する。							
平成26年度実績							
延長保育促進事業を法人保育園6園で実施							決算額
							35,598千円
							実績値
							6力所
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
実施園の拡大の必要性の検討							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
子ども子育て支援新制度施行に伴うニーズ拡大に対応するため、公立保育所における延長保育の実施							予算額
							10,340千円
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(6) 休日保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
休日保育の充実	福祉課			●			
事業の概要							
保護者の日曜・祝日の勤務などの理由によって保育ができない場合の対応を充実します。							
平成26年度実績							
休日保育事業を法人保育園1園において実施							決算額
							1,424千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様							予算額
							-
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(7) 特定保育の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
特定保育の実施	福祉課			●			
事業の概要							
就労形態等の多様化に伴い、家庭での保育が一時的に困難となる場合など、様々な保育ニーズに対応するため、週2・3回程度、また、午前か午後のみなどの柔軟な保育事業を実施する。							
平成26年度実績							
類似した内容の事業へ一本化したため、平成25年度より実施していない							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
なし							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(8) 病後児保育の充実(施設型)

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
病後児保育の充実(施設型)	福祉課	1箇所	2箇所	●			

事業の概要

現在、実施されている病後児保育に対して支援を行い、保護者の就労などにより、病気回復期に家庭での保育が困難な乳幼児の保育を充実する。

平成26年度実績

こおり小児科にて実施	決算額	9,829千円
	実績値	1カ所
	進捗状況	3

事業に対する評価・課題等

需要に見合った提供をするには、1カ所のみでは不足している状況といえる

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成27年度予定

前年度同様に桑折小児科1カ所のみで実施	予算額	11,146千円
	目標値	2カ所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(9) 一時保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
一時保育の充実	福祉課			●			
事業の概要							
保護者の就労形態の多様化や疾病等の緊急時に対応するため、また、保護者の心理的・肉体的負担の解消を図るためにも一時保育を充実する。							
平成26年度実績							
法人保育園6園にて実施							決算額
							9,373千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
保護者の就労形態の多様化や疾病等の緊急時に対応できた							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度同様							予算額
							13,290千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(11) 放課後子どもプランの充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
学童保育の充実	福祉課	9箇所	10箇所	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>地域の実情に合わせて子育て支援を充実させるため、小学生の放課後の居場所を確保する放課後児童プラン(放課後児童クラブ)を充実する。(対象者1~3年生)</p>							
平成26年度実績							
設備及び運営に関する条例を制定し、対象児童を小学6年生まで拡充した。 吉田小校舎一部を取り壊しに伴い、吉田放課後児童クラブを吉田小余裕教室に移設した。 放課後児童クラブ 公設民営 4クラブ、民設民営 5クラブを開設。 児童者数(補助基準対象数) 350人							決算額
							26,979千円
							実績値
							9箇所
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
番城認定こども園(仮称)に放課後児童クラブを2教室(移設・新設)を新設。 放課後児童クラブ 公設民営 4クラブ、民設民営 5クラブを開設。 児童者数(補助基準対象数) 350人							予算額
							93,638千円
							目標値
							9箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(11) 放課後子どもプランの充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	10箇所	10箇所 (事業拡充)	①充実	●	②継続	③新規

事業の概要

放課後に小学校の余裕教室や公民館等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境作りを推進する。

平成26年度実績			決算額
【鶴島放課後子ども教室】	①実施日数：32日	②参加児童(平均)：26.6人/回	1,014千円
【天神放課後子ども教室】	①実施日数：10日	②参加児童(平均)：15.3人/回	
【和霊放課後子ども教室】	①実施日数：9日	②参加児童(平均)：27.6人/回	実績値
【高光放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：10.5人/回	
【住吉放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：24.0人/回	11箇所
【三間放課後子ども教室】	①実施日数：188日	②参加児童(平均)：12.8人/回	
【二名放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：11.3人/回	進捗状況
【成妙放課後子ども教室】	①実施日数：183日	②参加児童(平均)：0.5人/回	
【畑地放課後子ども教室】	①実施日数：192日	②参加児童(平均)：3.5人/回	4
【宇和津放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：6.5人/回	
【美沼子ども教室】	①実施日数：95日	②参加児童(平均)：7.1人/回	
③対象校区：三間、二名、成妙小学校			

事業に対する評価・課題等

平成24年度との比較で1箇所増え、合計11箇所を実施している。
 学校日の開催を基本としている7教室については、学童保育のニーズの高い地域における児童クラブを補完する形での放課後対策事業として一定の評価ができる。長期休業期間や土曜日の学校休業日への対応については、平成25年度に美沼子ども教室(三間地区対象)を開設した。
 公民館で不定期に開催している3教室については貸館の都合上実施回数に限りがあり、地域の教育力を生かした児童の居場所づくりという観点からは十分評価できるものの、学童保育の普及を求める保護者のニーズには十分対応できていない。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定			予算額
【鶴島放課後子ども教室】	実施日数：40日	【天神放課後子ども教室】	実施日数：15日
【和霊放課後子ども教室】	実施日数：10日	【高光放課後子ども教室】	実施日数：187日
【住吉放課後子ども教室】	実施日数：187日	【三間放課後子ども教室】	実施日数：187日
【二名放課後子ども教室】	実施日数：187日	【成妙放課後子ども教室】	実施日数：187日
【畑地放課後子ども教室】	実施日数：187日	【宇和津放課後子ども教室】	実施日数：187日
【美沼子ども教室】	実施日数：99日		
			目標値
			11箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(12) 地域子育て支援センター事業への支援充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
地域子育て支援センター事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
地域子育て支援センターを設置し、保護者の育児相談、保育サービスの利用相談等に対応できる体制を整備する。							
平成26年度実績							
地域子育て支援拠点事業を法人保育園5園で実施するとともに、他の保育所や公民館などでも対応できる体制が整っている							決算額
							37,265千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
旧宇和島市内では充実している							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度同様							予算額
							37,265千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(13) ファミリー・サポート・センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
ファミリー・サポート・センター事業	福祉課					●	

事業の概要

子育て中の保護者が急な仕事・用事により、子どもの世話ができないとき、一時的に地域住民が子育ての手伝いをおこなう。

平成26年度実績

利用会員に対し、市立宇和島病院で実施される子育てセミナーの参加を呼びかけた。
 会員登録数(平成27年3月31日現在)
 利用会員 210人
 サポート会員 99人
 両方会員 17人 計 326人

決算額

2,271千円

実績値

1箇所

進捗状況

4

事業に対する評価・課題等

平成26年度における活動件数は1,195件であり、昨年度比で△141件であった。
 利用会員に対する効果的な研修を実施し、会員の確保に努めたい。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

利用会員の確保及び効果的な研修を実施する。

予算額

2,398千円

目標値

1箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(14) 児童館設置の検討

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
児童館設置の検討	福祉課	-	1箇所	①充実		●	③新規

事業の概要

地域において健全な子どもを育成し、情報交換やふれあいの場を提供していくために、児童館の設置を検討する。

平成26年度実績

なし	決算額	
	0千円	
	実績値	
	-	
	進捗状況	
	1	

事業に対する評価・課題等

要検討事項

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

なし	予算額	
	-	
	目標値	
	1カ所	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(16) 乳幼児・児童を持つ家庭への各種手当・医療費の助成

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
乳幼児医療費助成・児童手当	福祉課					●	

事業の概要

子ども手当をはじめとする各種手当の支給や医療費の助成と行い、乳幼児、児童を養育している家庭の福祉の増進を図る。

平成26年度実績

児童手当の支給 1,102,884千円 乳幼児医療費の負担 131,219千円 児童医療費の助成 4,730千円	決算額
	1,238,833千円
	実績値
	左記参照
	進捗状況
	5

事業に対する評価・課題等

児童手当及び乳幼児医療比の負担については、国・県の施策により実施。
 児童医療費の助成は、県内における実施状況を勘案し、市単独事業で実施。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

児童手当の支給 1,104,450千円 乳幼児医療の負担 143,160千円 児童医療費の助成 7,010千円	予算額
	1,254,620千円
	目標値
	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(17) ひとり親家庭への各種手当・医療費の助成

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子家庭医療費助成・児童扶養手当	福祉課			●			
事業の概要							
児童扶養手当をはじめとする各種手当の支給や医療費の助成を行い、母子家庭等の福祉の向上を増進をはかる。							
平成26年度実績							
制度改正に伴い、年金受給者が児童扶養手当を受給することができるようになった。 医療費の助成について、父子家庭にも拡充を行った。(平成27年7月診療分から) 児童扶養手当の支給 468,655千円 母子家庭医療費の助成 84,242千円							決算額
							552,897千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
制度改正について、広報・HPで周知を行った。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
前年度と同様に実施 児童扶養手当の支給 480,105千円 ひとり親家庭医療費の助成 85,487千円							予算額
							565,592千円
							目標値
—							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(18) ひとり親家庭への相談・支援活動の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
家庭・児童相談員(相談員3人)	福祉課			●			
事業の概要							
ひとり親家庭に対して、民生児童委員、主任児童委員等との連携を図りながら、生活一般及び自立生活に必要な相談・支援活動を充実させていく。							
平成26年度実績							
1名の母子父子自立支援員を配置し、ひとり家庭から相談を受けたり、小口資金5件や福祉資金5件の貸し付けなど支援を行った。							決算額
							2,286千円
							実績値
							10件
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
法改正により父子家庭への支援策が強化されたため、当市も母子父子自立支援員を配置した。また、児童扶養手当を受給し、求職中の者に対し、ハローワークと連携し就労支援を実施した。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
昨年度と同様に就労支援を実施。							予算額
							3,162千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(19) ひとり親家庭への就労支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子自立支援事業	福祉課			●			
事業の概要							
母子家庭の社会的、経済的自立を推進していくため、国や県と連携を取りながら推進する。							
平成26年度実績							
自立支援プログラム策定事業 1件 高等技能訓練促進費等事業 9人							決算額
							10,882千円
							実績値
							9人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
国の制度改正を踏まえながら、事業を実施していく。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
相談内容に応じた福祉サービスを提供していく。							予算額
							9,740千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(20) 子育て意識の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
子育て支援広報啓発事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
子育て支援の充実および子育て意識の啓発							
平成26年度実績							
特になし							決算額
							-
							実績値
							-
						進捗状況	
						2	
事業に対する評価・課題等							
さらなる子育て支援の充実化を図る必要あり							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成27年度予定							
子育て相談窓口の設置 子育てガイドブックの製作							予算額
							7,000千円
							目標値
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(20) 子育て意識の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健康衛生推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>生命の尊さや親となる喜びを学ぶ機会の充実・子育てに喜びを感じる社会づくり。自他の生命尊重の大切さを学校・家庭が共有。社会全体で子育てを支える必要性などについての啓発活動の推進。生命尊重を基盤とした教育の実施。</p>							
平成26年度実績							
<p>交通安全教室や薬物乱用教室による警察や関係機関との連携ができた。 お年寄りとの交流を深めるなど、命や福祉を学ぶ教育の機会を充実させた。 教職員と保護者が子育てについて話し合う場・機会を持つことにより、連携・協力した児童の成長にかかわる取組ができた。 日々の集団下校において、命の大切さや発達段階に応じた役割の指導に努めている。 総合的な学習の時間において、福祉問題を取り上げ、関係機関の協力を得て、学習の機会を充実させた。</p>							決算額
							実績値
							87%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>教職員と保護者が、連携・協力して自分の命は自分で守る教育を推進することができた。 子育てに関する考え方が大きく違う家庭があり、親の考え方によって児童同士のつきあいも制限せざるを得ない状況になる場合が見られる。 保健室だよりや学級通信等、学校からの啓発活動に努めた。 教職員と保護者が子育てについて話し合う場・機会を持つことにより、連携・協力した児童の成長にかかわる取組ができた。 各家庭で独自の子育て観があり、子育ての悩みなどを共有することが困難な点もある。 生徒の問題行動に関する話合いの流れで、個別に関係保護者と相談する機会はある。しかし、それ以外で「子育て」に関して、取り上げて話し合う場は設定できてはいない。そのため、保護者の代表が集まるPTA運営委員会や地域の代表と協議する「まもり育てる協議会」等で啓発し、地域から各保護者へ発信していくよう努めている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
<p>人権感覚の高揚・生命尊重をテーマにした講演の実施。 人権・同和教育を中心として、命の尊さを指導していく。 性教育年間指導計画に沿って、各教科との関連を図りながら指導をする。 学校だより等の通信を通じた、学校情報の発信を行う。 防災訓練の実施等を通して生命尊重の意識を高める。 防災訓練を実施し、自他の生命尊重の大切さについて学ぶ機会をもつ。 教職員から保護者に啓発する形でなく、PTA組織の中の「学年学級部」や「人権・同和教育部」を中心に、保護者同士の集まりの中で、「子育て」について話し合う場を設定していきたい。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等	建設課	20%	22%	①充実		●	③新規	
事業の概要								
交差点及び横断歩道の車道と歩道の段差をなくし、歩行者にやさしい道作りをするものです。								
平成26年度実績								
市道長堀14号線に転落防止柵を約100m設置したほか、3路線にて歩行者安全対策工事を行った。								決算額
								7,600千円
								実績値
								20%
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
近年の財政状況に対して、市内の補修箇所が増加により予算確保が困難になっている。しかしながら、交通弱者に対して最優先の道づくりを行っていかねばならないと考えている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成27年度予定								
歩行者にとって危険な箇所について、市民からの要望によりその都度補修を行う予定である。また、通学路緊急合同点検の結果を踏まえ、危険箇所について対策工事を実施予定。								予算額
								8,500千円
								目標値
								21%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
都市公園における移動等円滑化への対応	都市整備課			①充実		●	③新規
事業の概要							
出入口の段差解消やスロープの設置等により、高齢者や障がい者、ベビーカーを含む子ども連れの人などに優しい公園造りを目指すもの							
平成26年度実績							
都市公園、児童遊園における公園施設の設置・改修の実績なし。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
公園施設の機能回復のための修繕はその都度行ったが、機能向上のための改修は行っていない。地域の要望や現状を把握し、財政措置を含めた年次改修計画の策定が必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
都市公園、児童遊園の既存の公園施設の調査・改修。 都市公園、児童遊園内のトイレを和式から洋式へ改修。							予算額
							-
							目標値
							3か所以上

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大)	建築住宅課	56戸	128戸	①充実		●	③新規	
事業の概要								
<p>少子高齢社会に対応するため公営住宅等整備事業により、公営住宅のバリアフリー化を推進する。</p>								
平成26年度実績								
<p>年度内の修繕予算は、公営住宅住民からの修繕願に基づく修繕などで全額使い切る状況で、逆に残不足により年度末近くになると公営住宅住民の生活環境に直結するような修繕すら満足に受け付けられない状況に陥る。したがって、上記関連事業にまわす予算残がなかったことなどから、実績は全くない。</p>								決算額
								—
								実績値
								56戸
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
<p>伊吹団地シルバーハウジング戸数(56戸)の他に、既存住宅のうち72戸をバリアフリー化しようとするものであるが、上記平成26年度実績にて述べたような例年の逼迫した歳出状況から、同事業のための予算措置をしていただけない限りは、同事業の進捗は全くありえない。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成27年度予定								
<p>昨年度と同様の実情より、今年度に就いても何ら進捗することはないと思われる。</p>								予算額
								—
								目標値
								—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
保育所地域交流事業	福祉課			●			
事業の概要							
様々な世代間の交流や中高生による体験学習、郷土芸能の伝承活動、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流を促進する。							
平成26年度実績							
公立保育園12園、法人保育園6園で実施							決算額
							1,629千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
世代間の交流を促進することができた							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
公立保育園15園、法人保育園6園で実施							予算額
							1,789千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
幼稚園における地域交流	福祉課 【教育総務課】			●			
事業の概要							
様々な世代間の交流や中高生による体験学習、郷土芸能の伝承活動、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流を促進します。							
平成26年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、地域の高齢者、老人クラブ、農業後継者、また小・中・高等学校などの身近な人との様々な交流や連携を図ってきた。 ・小学校・未就園児との交流活動、高齢者福祉施設訪問などの他、地域行事にも参加し、様々な世代の人たちとの交流を行った。 ・保育園児と共に行事に参加し、協力した。 ・職場体験学習により、中高生と交流した。 							決算額
							—
							実績値
							100%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ敷地内に小学校・公民館があり、交流や連携がとりやすかった。また、園行事に老人クラブの方々に参加してもらうことで、お年寄りとの交流ももてた。 ・様々な世代間の交流を通して、園内ではできないいろいろな体験をすることができ、活動の内容や場が広がった。 ・継続的な行事や新たに取り入れた活動などにより、保護者・小学校・地域・他園とのつながりを深めることができた。 ・地域とのつながりの中での体験活動が、幼児の成長や発達につながった。 ・園児と様々な世代との交流を重ねてきたことで、親しみの気持ちや思いやりの心が育まれてきている。 ・様々な人との交流を通して、豊かな経験や人との関わりを深めることができた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小・中・高生や地域との交流活動の促進。 ・小学校や公民館・地域・保育所との交流により、地域で見守り、育てる指導体制を確立する。 ・引き続き、地域行事への参加、地域の人々との交流活動を取り入れる。 ・幼児の直接体験を促す。 							予算額
							—
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
豊かな人間性育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	86%	100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>様々な世代間の交流や体験学習、郷土芸能の伝承活動、小中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流の促進。 公民館活動を中心とした地域行事への積極的な参加。 低学年とお年寄りとの交流会の実施。 老人クラブとの交流や地域での体験活動。</p>							
平成26年度実績							
<p>保育園、障害者施設、老人ホームとの交流活動や、地域の方を講師として招き、しめ縄作り等の活動を行った。 秋祭りのお練に全校児童が参加した。 総合的な時間に地域の教育力を導入している。 児童が地域行事へ積極的に参加するよう呼びかけるとともに、教職員も地域への奉仕活動に参加した。 地域の老人クラブと、グランドゴルフ等を通して交流することができた。 地域の秋祭りや相撲大会等の行事に多くの児童が参加した。 地区別教育懇談会を開催し、学校・保護者・地域の方が参加して、児童の健全育成について話し合いと情報交換を行った。 地域の子どもを守るため、地域の団体との話し合いの場を定期的にもった。</p>							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>交流を通じて自分たちが住んでいる地域の歴史や文化、人と人とのつながりについて学ぶことができた。 地域の方との交流によって、世帯間交流がうまくでき、挨拶が広がっている。 地域の人をゲストティーチャーとして校内に招いて指導してもらったり、地域との触れ合い活動を取り入れたりする。 地域との関わりを深めることにより、地域全体で子どもたちを育てているという意識が高まった。 地域行事への参加を通して、児童が、地域の歴史や文化を学び、地域の一員としての自覚が高まった。 児童数の減少とともに、継承する児童も減ってきている。 地域の伝統を継承する意義を啓発していく必要がある。 伝統文化に参加することで、地域の歴史や文化、人とのつながりを学ぶことができた。 三世代でもちつき大会を行い、お年寄りとの交流を深めることができた。 事業を通して、地域の一員であるとの自覚や地域に貢献しようとする心情が育った。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
<p>児童が、計画段階から主体的に参加できるような行事を実施する。 地域行事について、公民館などに情報を提供していただき、学校だよりなどをとおして発信していく。 世代間交流行事の促進。 ゲストティーチャーによる学習や体験活動の実施。 総合的な学習の時間や生活科の中での地域教材を通して、地域に対する愛着を深める。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
地域交流推進事業	生涯学習課			●			
事業の概要							
世代間交流や郷土芸能の伝承にかかる学級・講座及び、様々な体験学習を推進し、地域や学校、家庭での交流を促進する。							
平成26年度実績							
【公民館講座】 実施公民館数 : 30館 実施回数 : 162回 実施時間数 : 283時間 参加者数 : 2,194人 内容 : 郷土史学級・三世代交流・光る泥だんご作り・古典読書講座・パソコン教室等							決算額
							592千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
限られた予算の中で、さまざまな学級・講座が実施できたことは評価できる。今後も多くの人が学べるよう、土日や日中、夜間等に分散して開催する努力が必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
【公民館講座】 実施公民館数 : 30館 実施回数 : 165回							予算額
							631千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(1) 介護休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課			●			

事業の概要

職員が家族を介護しなければならなくなった場合には、肉体的、精神的に職業生活と介護の二重の負担がかかることとなり、離職に至ることとなりかねない。介護休暇は、このような事態を回避するため、長期の場合は一定期間の休暇(無給)、短期の場合は特別休暇を認めることにより職員の離職を回避するもの。

長期における取得可能期間: 2週間以上6か月以下
短期における取得可能期間: 1年のうち5日(要介護者が2人以上は10日)

平成26年度実績	
○平成26年実績 長期における介護休暇 0人 短期における看護休暇 0人	決算額
	—
	実績値
	0人
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等

制度の周知を行う。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成27年度予定	
仕事と介護の両立ができるよう、制度の周知や相談体制の充実を図る。	予算額
	—
	目標値
	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
家族介護支援事業(介護用品支給事業)	高齢者福祉課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
居宅において要介護4以上の高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。								
平成26年度実績								
利用者数 : 164名								決算額
支給件数 : 1,225件								6,811千円
支給費総額 : 6,811,421円								実績値
								左記参照
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成27年度予定								
利用者数 : 200名								予算額
支給件数 : 1,300件								7,800千円
支給費総額 : 7,800,000円								目標値
								—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることのできる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
在宅老人等介護手当事業	高齢者福祉課			●			
事業の概要							
居宅において要介護3以上の寝たきり及び重度認知症の高齢者を介護している家族に対し、介護手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。							
平成26年度実績							
利用者数 : 205名						決算額	
支給月数 : 1,519ヶ月						7,595千円	
支給費総額 : 7,595,000円						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	
						3	
事業に対する評価・課題等							
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
利用者数 : 240名						予算額	
支給月数 : 1,800ヶ月						9,000千円	
支給費総額 : 9,000,000円						目標値	
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることのできる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
地域支援事業(高齢者見守り配食事業(週3回以内配食、安否確認))	高齢者福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>居宅において食事の調理等が困難な65歳以上の独居高齢者等に対し、配食サービスを行うことにより栄養状態の改善と健康の増進を図るとともに、利用者の安否確認を行う。</p>							
平成26年度実績							
利用者数 : 653名(延) 配食件数 : 6,078件 支給費総額 : 1,436,700円(委託料のみ)						決算額	
						1,437千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
<p>○食事の提供が週に1回(昼食)のみであったため、十分な事業効果が得られていなかった。H21年度から週3回を上限に利用回数を増やし、利用者の安否確認を行うことに重点を置いている。 ○事業選定は3年に1度実施しているが、H24年度～津島地区で事業者不在の状態が続いていたが、再三の追加募集の結果、H25年9月に1社決定、更にH26年9月に1社決定し、計2社が参入し、津島地区での実施が再開できるようになった。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
利用者数 : 900名(延) 支給件数 : 7,000件 支給費総額 : 1,800,000円(委託料のみ)						予算額	
						1,800千円	
						目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向					
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●		
やわらか食お料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
高齢化等に伴う嚥下機能低下に対応したレシピを栄養士が作成し、誤嚥防止のための調理実習を調理師とともにを行い、実践につながる学習機会の提供を行う。									
平成26年度実績									
<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数6回 ・延べ参加者数28人(すべて外来患者) 								決算額	—
								実績値	左記のとおり
								進捗状況	5
								事業に対する評価・課題等	
								<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に開催しており、事前に広報うわじまで周知することで、在宅や施設、病院など嚥下食が必要な患者・市民に情報提供を行うことができた。 ・参加者の希望する内容で調理実習を行い、実際作ることによって理解や自信取得につながり、他施設での嚥下食の発展に貢献することができた。 ・教室参加を通して、各施設や病院スタッフの情報交換の場を提供できた。 ・当院調理師に自己研鑽の場にもなっており、これまで嚥下食を作ったことがなかった調理師も嚥下食担当として取り組めるようになった。 	
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成27年度予定									
今後も定期的に実施する。嚥下食地域連携勉強会と共同して、地域住民や他施設、他の病院に調理実習を通して嚥下食の情報提供を行っていく。								予算額	—
								目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—